

令和4年9月30日

1年生保護者様

丹波篠山市立今田中学校

校長 田端 俊典

丹波篠山市立今田中学校 学習や生活に関する学力向上プラン

丹波篠山市学力・学習状況調査(以下「市調査」)及び全国学力・学習状況調査(以下「全国調査」)は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

○国語科 全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。「漢字の読み」においては、全国や目標値をかなり上回っており、良好な状況です。しかし、「文章を書く」の項目が、全国、市平均より9Pも下回っています。

○数学科 全国・地町村平均を上回っており、おおむね良好です。特に「単位量あたりの大きさ」「データの活用」「いろいろなグラフの読み取り」の項目では、全国・市町村平均を大きく上回っています。しかし、「百分率」「比と比例・反比例」に課題が見られました。

○生活状況調査 生活習慣、学習習慣、社会参画など規範意識についてはほぼ平均値です。やらなければいけないことをしっかりとやるという意識は育っていると読みとれます。友達の支え、成功体験、充実感と向上心、感動体験は平均よりかなり低いという課題が見られました。

課題および今後の学力・生活習慣向上方策

○国語科 引き続き「基礎的な問題」の定着を漢字ノートや小テストで図ると共に、「文章を書くこと」に重点を置いて取り組みを進めていきます。単元後に学んだことを応用したり、考えを深めたりするための200~400字作文に取り組んでいきます。また、条件付き作文なども慣れていけるような取り組みを進めていこうと考えています。

○数学科 課題のある小数の計算などに対しては、少人数指導で基礎基本の定着が図れるよう、繰り返し練習を行っていきます。また、割合や比などの苦手意識をなくすために、身のまわりの事象を数学の問題として捉え、それを解決していく学習を取り入れたいと思います。更に、日々の授業の中で「なぜそうなるのか」を問い返すことで、結果だけではなく、過程や根拠を大切にしていきます。

○生活状況調査 友達の支えの項目が非常に低いので、一人一人のがんばりを周囲の者、特に友達が認めていくことが大切だと考えられます。結果だけではなく、がんばってきた経過を認めていきます。認められたことで自信や充実感に繋がっていきます。体育大会や文化祭などの行事を集団で成功させることで達成感や充実感に繋がっていきます。また、個を認め合えるような取り組みを行いながら、良好な人間関係の構築をしていきます。

保護者の皆様へ お知らせとお願い

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について、指導・支援方法を検証し、取り組みを充実していきます。

ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習のあり方や生活習慣について、ご確認いただき支援をよろしくお願いたします。また、子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくために、周囲の支えが何より必要です。個々の成長、よりよい集団づくりのために、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちを支えていけますよう、ご協力をお願いいたします。